

I

徳島県のすがた



徳島県のすがた

位置

本県は四国の東部に位置し、東は紀伊水道に面し、北は香川県、南は高知県、西は愛媛県に接しています。

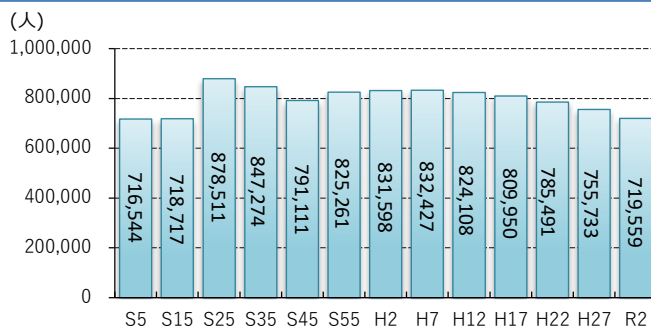


極東 (阿南市伊島町) : 東経 134°49'
極西 (三好市山城町三傍示山) : 東経 133°40'
極南 (海部郡海陽町竹島) : 北緯 33°32'
極北 (鳴門市瀬戸町大島田) : 北緯 34°15'

行政区域



人口推移



出典：総務省「国勢調査」

地勢

本県は総面積が約4,147km²で、山地が多く、その中央部を東西に四国山地が走り、1,000m級の山々が県土を南北に2分しています。この山地の南面は森林地帯が形成され、県土の約75%が森林で覆われています。中でも1,955mの剣山は四国第2の高峰であり、高山植物など、豊かな自然を育んでいます。

四国山地の南北にはそれぞれ那賀川と吉野川の一級水系が西から東へ向かって通っています。特に北側を流れる吉野川は「四国三郎」と呼ばれる日本有数の大河川で、河口部では肥沃な徳島平野が形成されています。

これらの一級水系は368の河川が合流し、延長1,518kmは全国で第28位その他、二級水系は勝浦川等39水系、129河川で、延長440kmは全国で第29位となっています。

気候

本県における年平均気温の分布を見ると海岸地方は約16℃から17℃、南西部の剣山周辺が約12.5℃から14.5℃、海岸地方と内陸地方で気温差は約3℃から4℃前後あり、一般に夏は小さく、冬は大きくなります。変化の大きな日には温度差が7℃に達することもあります。年間を通して比較的温暖です。

雨量面で見ると、本県は剣山南麓を中心とした全国有数の多雨地域と、吉野川北岸を中心とした少雨地域とに大別されます。年平均降雨量では、那賀川上流域と海部川流域が最も多く3,000mmを超え、多い年には5,000mm近くを記録することもあります。これより北に向かうにしたがって雨量は次第に少なくなり、吉野川北岸部では1,500mm前後、雨の少ない年には800mm前後に止まることもあります。

温暖な気候、河川上流域の豊富な降水量、全国有数の日照時間は本県の豊かな自然を生み出しています。